

診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院（総合リハビリテーション部）では、「人工股関節全置換術後の自覚的脚長差に影響を及ぼす要因について～術前の荷重位レントゲンに着目して～」の研究に取り組んでいます。

研究の概要

変形性股関節症を治療する方法として人工股関節全置換術があり、良好な成績が報告されています。一方、手術によってレントゲン上の足の長さの違いが改善したにも関わらず、自覚的な足の長さの違いが残る場合があります。自覚的な足の長さの違いが残ると、術後の生活における満足度が低下すると言われていています。手術前のレントゲン画像情報から自覚的な足の長さの違いに影響するものを予測することができれば、手術前や手術後早い段階から、自覚的な足の長さの違いの改善に向けた根拠のあるリハビリを提供できると考えます。また、自覚的な足の長さの違いがあるかどうかは、立った状態で確認することが一般的ですが、寝ている状態でのレントゲン画像との関係を調べている研究が多く見られます。そこで今回、立った状態でのレントゲン画像と退院時の自覚的な足の長さの違いとの関係を明らかにすることを目的に研究を行います。

対象となる方

2020年1月7日から2022年7月31日までに当院で人工股関節全置換術を実施し、退院時に自覚的な足の長さの違いを感じていた方。

研究期間

研究実施許可日 ～ 2025年3月31日

利用する診療情報

疾患名、年齢、性別、入院日、手術日、退院日、手術前・退院時の自覚的な足の長さの違い、術前のレントゲン情報（左右の足の長さの違い、骨盤の傾き、背骨の角度）

研究機関の名称：熊本機能病院 総合リハビリテーション部

研究責任者氏名：三宮 克彦

個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

社会医療法人寿量会 理事長 米満 弘一郎

お問い合わせ先

熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法士 東 廉

T E L : 096-345-8111(内線 2562)、F A X : 096-345-8188